

「長久手市非核平和都市宣言（案）」についてのパブリックコメントの実施結果

長久手市非核平和都市宣言にあたり、市民のみなさんからご意見をいただくためパブリックコメントを実施しました。

ご意見をいただきありがとうございました。

次のとおり結果を公表します。

- 1 意見募集案件名
長久手市非核平和都市宣言（案）
- 2 募集期間
平成26年4月21日（月）から平成26年5月20日（火）まで
- 3 閲覧場所
市役所本庁舎2階行政課、市役所西庁舎1階情報コーナー、市ホームページ
- 4 募集結果
19人 32件
- 5 提出された意見及び意見に対する市の考え方
別添のとおり

事項	No	ご意見の概要	市の考え方
賛成意見 17	1	戦争体験者として、最近何かきな臭い感じをしているので、このような取組に賛成である。ぜひ可決してほしい。	本宣言の理念及び目的は、本市が平和の願いを新たにし、非核平和を目指す自治体と手をつなぎ、平和活動に尽力するものです。宣言後は、その理念に基づき、取り組んでいきたいと考えています。
	2	大賛成です。核兵器根絶への一步に市民として参加でき、誇りに思う。	
	3	賛成です。「非核平和都市」の宣言を急いで実施してください。	
	4	<p>武力で国際問題を解決するのではなく言論・意思の力で解決すること、武力から平和は生まれぬ、これは人類が戦争の歴史から学んだ英知である。</p> <p>世界では今なお多くの核兵器が存在し、核保有国の多くが、武力を伴う国際紛争に関係している。ウクライナ、シリア、南シナ海、アフガニスタン・・・指折りでは数えきれないほどである。偶発的に戦争が起きる可能性は、低い。それが核戦争に発展する可能性は、ゼロではない。</p> <p>このような時に、長久手市民が平和を願う意思を宣言することは、高い意義がある。</p> <p>個人的な深読みになるが、日本が「自衛のための武力行使」の範囲を、憲法解釈の変更という奇策で広げようとしている今は、ひととき大きな意義がある。核兵器を装備した軍隊と日本の自衛隊が共に戦うということは、通常兵器による攻撃だけでなく、核兵器による反撃を受ける危険に、日本がさらされることを意味するからである。</p>	
	5	非核平和都市宣言をすることに賛成する。	
	6	賛成する。	
	7	賛同する。	
	8	非核平和都市宣言に賛成する。ぜひ採択してほしい。	
	9	文案に賛成します。	
	10	賛成する。	
	11	一刻も早く非核平和都市宣言がなされるよう望む。	
	12	<p>「非核平和都市」宣言を取り下げられてしまい残念である。色々と騒がしいこのご時世、必要な宣言だと思うので是非、復活してほしい。</p> <p>非核平和都市宣言に賛成である。</p>	

	13	今回の宣言文はとてもシンプルで大変良いと思う。	
	14	文章は、そのまま結構です。	
	15	再提案の案文は前回よりすっきりしたと思う。「非核平和都市」宣言をしている自治体は全国で1578自治体。宣言率は88%を超えているとのこと。この案文で宣言することに賛成する。	
	16	文面はこれでよいと思う。	
	17	すっきりまとまっていてとてもいい案だと思う。一日も早く宣言してほしい。	
	18	文章も、旧案よりすっきりと改善されており、この案で良いと思う。 その上で、あえて付け加えるなら、5、6行目「また」以下のフレーズは、前4行の内容に対して重複する部分があり、何を「また」付け加えているのか不明確である。	本文5、6行目は、前段中の「非人道的な兵器である核兵器」がもたらす具体的な影響及び被害を付け加えたものです。
	19	画一的（型にはまっている）な表現という感じがしないでもなく、できれば、次のとおりもう少し切実な思いが表されると良いと思う。 (1) 悲惨な状況を絶対に起こしてはならない。 (2) 根絶するためにどうするのか	世界の平和と安全は全世界の共通の願いです。
文意について6	20	案の最後の項の「平和の願いを新たにするとともに、」の後に「戦争放棄を定めた平和憲法9条を保持し」を入れる。 日本国憲法9条はノーベル平和賞への推薦が受理された（4月11日朝日新聞）。戦後70年近くも日本が戦場にならなかったのは、この9条を保持したからである。今、集団的自衛権行使が議論されている中で全国59の市町村議会で「反対・慎重」の意見書が提出されている（4月7日中日新聞）。平和を願い非核宣言をするならば平和憲法第9条を抜きにしてはならない。	平和憲法である日本国憲法は、遵守すべきものであると考えます。 本宣言は、平和への想いを育み語り継ぐためのものとするため、非核平和に対する姿勢・精神を重視した記述としました。
	21	本文3行目の「兵器である」を削除し、「人類が」を「私たちは」とする。 本文8行目を「地球上から核兵器を根絶するという強い決意を世界（又は国際社会）に示さねばなりません。」とする。	本文3行目の「核兵器」は、非人道的な「兵器」として人類に脅威及び地球環境に甚大な被害をもたらすものとしてこの記述としました。また、「人類が」については、広く「人類」として、核兵器から受ける影響を表現するためこの記述と

		<p>しました。</p> <p>本文8行目については、本宣言によって「地球上から核兵器を根絶するという強い決意を世界（又は国際社会）に示す」ものと考えます。</p>
2 2	<p>宣言文中「地球上から核兵器を根絶～」を「地球上から核兵器及び核を根絶～」としてほしい。</p>	<p>日本は、戦争で被爆した唯一の国であることから「核兵器を根絶」としました。</p>
2 3	<p>私たちは「核兵器のない平和で公正な世界」を求めています。</p> <p>そして、いま世界は、核兵器禁止・廃絶に向けて揺るぎなく動いています。核兵器を作ること、持つこと、使う事もすべて禁止する方向へ着実に進んでいます。</p> <p>私たちは、世界で唯一の戦争被爆国の国民として、さらに、原子力発電所事故による放射性汚染物質の拡散で環境が破壊され、人も生き物も住めなくなる被害を目の当たりにしてきました。</p> <p>私たちは、原子力に代わる、人と地球を守る自然再生エネルギーを大事にし、戦争と放射能被害のない平和の願いを新たにするとともに、非核平和をめざす自治体と手をつなぎ、平和活動に尽力することを決意し、ここに「非核平和都市」であることを宣言します。</p>	<p>東日本大震災は、平和への脅威が戦争だけでないことを気付かせましたが、原発そのものが平和への脅威ではないため、「核兵器の根絶」としていません。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

7	24	具体的には、平和の意識を高める活動、イベント開催をしてほしい。	今後、いただいたご意見を参考にし、検討していきます。
	25	宣言文を広く市民に知らせ、平和行政に力をいれてほしい。	
	26	宣言後は、市として平和行政に力をいれてほしい。次のとおり、取り組んでほしいことを提案する (1) 毎年8月6日、8月9日にむけて広島・長崎への原爆投下のことを後生に伝えるための展示会（写真パネル）の実施 (2) 平和行進を長久手市もルートに入れてもらうよう要請する（近隣市で実施している）。	
	27	平和行事の提案 (1) 原爆パネルの展示会の開催に合わせて、被爆者の方から被爆体験を聞く会を実施する。 (2) 第二次世界大戦の戦争被害、加害についての話を聞く会など実施する。	
	28	市庁舎に宣言の垂れ幕が常時架かっているようにしてほしい	
	29	戦争被爆から70年近く過ぎても核兵器以外に原子力発電などの被爆が今後も人類を脅かしていく。歴史に学び、戦争体験の話、地元の戦争中の生活状況などの資料展示、平和活動に市民皆が集える機会及び場所の配慮をお願いする。未来の子どもたちに平和を繋げていかなければならない。	
	30	原水爆禁止世界大会の開催に向けて広島長崎へ平和行進が行われている。愛知平和行進の中継所として長久手市庁舎も行進者をねぎらう立寄所としてほしい。	
その他2	31	私は、平和で健康な住みよい街を築き、後世に伝えていくことを願い非核平和都市として宣言したい。	本宣言の理念及び目的は、本市が平和の願いを新たにし、非核平和を目指す自治体と手をつなぎ、平和活動に尽力するものです。
	32	非核平和市長久手。核も戦争もいない。憲法を守りましょう（9条）。	平和憲法である日本国憲法は、遵守すべきものであると考えます。

長久手市非核平和都市宣言（案）

恒久平和は、人類共通の願いです。

しかし、世界各地では、今なお武力紛争が絶えず、さらに非人道的な兵器である核兵器の存在により、人類がその脅威にさらされています。

また、核兵器は、紛争地域だけにとどまらず、人類の発展と地球環境に甚大な被害をもたらすこととなります。

私たちは、世界で唯一の戦争被爆国の国民として、この地球上から核兵器を根絶しなければなりません。

長久手市は、平和の願いを新たにするとともに、非核平和を目指す自治体と手をつなぎ、平和活動に尽力することを決意し、ここに「非核平和都市」であることを宣言します。

平成 年 月 日

長久手市